



名瀬小だより

7月号

学校教育目標

友だちがすき まちがすき
ともに学び かがやく名瀬っ子

平成30年 6月 29日

横浜市立名瀬小学校

校長 増田 伸子

この体験が、思い出に変わる

校長 増田 伸子



6月2日、3日の二日間、6年生と一緒に日光修学旅行に出かけました。1日目は、奥日光で大自然にふれる体験をしました。ズミの花が咲き、白いワタスゲの穂が揺れる戦場ヶ原の木道をみなでハイキングしました。空気はさわやかに澄み、姿は見えないけれど、ウグイスの声に重なるように「カッコウ、カッコウ」という鳴き声も聞こえてきました。「あ



あ、いいね。気持ちいい。」と、大きく息を吸い込む6年生の姿がありました。夜はホテルで益子焼の絵付け体験をしました。集中して、静かに思い思いの絵や文字をかきました。2日目は、文化や歴史を感じながら、輪王寺、東照宮、大猷院などを巡りました。特にグループで行動した、世界遺産でもある日光東照宮では、三猿、眠り猫や想像の象などの彫刻、鳴き亀、陽明門、五重塔など、人の手による作品や建造物の素晴らしさに目を奪われました。共に食事を取り、眠り、交友を深め、自然や文化に触れる体験をした二日間でした。



6月22日、23日の二日間は、5年生と御殿場宿泊体験学習に出かけました。梅雨の最中でしたが、奇跡的に天気予報の雨マークが消え、すべてのプログラムを予定通り行うことができました。寒沢の源流近くまでの沢登りは、なかなかハードな道のりでした。「足元だけを見てはいけない。数メートル先を見て、また足元を見て、その繰り返し。どこに足を置けば安全に歩けるか考えよう。集中して。話さないで。」

スタッフの教えに従い、緑の木立の中、水音を聞きながら、沢に沿ってただ黙々と登っていく体験。夜は、キャンプファイヤーで盛り上がり、最後には、「協力」「友情」「輝き」「絆」の四つの火を、心の中にも灯しました。だんだん暮れていく空の下、集いの楽しさを味わいました。2日目は、箱根に移動して、伝統工芸の寄せ木細工を体験しました。寄せ木を組み合わせて接着し、蜜蝋のワックスを塗って、自分の力でコースターを仕上げました。ビニール袋に入れて、大事に持ち帰る姿が印象的でした。自然の中に身を置き自然を感じる体験、友と協力して過ごす体験、ものづくりの体験を通し、ひと回りもふた回りも、大きくなった5年生でした。



これらの素晴らしい体験は、子どもたちの心の中で思い出に変わることでしょう。間もなくやってくる夏休みにも、子どもたちが家庭や地域でよい体験をし、よい思い出を作ってくれることを願っています。